

# 深町を「住み続けられるまち」に！

## ～今の自分たちができること～

日時：11月18日（木）第6校時

学年・学級：3・4年（11名）

指導者：太田 陸

育成をめざす資質・能力：主体性 思考力・判断力 表現力

### 1 単元について

#### 地域や学校の特色と教師の願い

深町は自然豊かな町であり、深町の良さとして「自然がたくさんあるところ」が、児童の意見で一番にあげられる。しかし、学校の近くを流れる藤井川や登下校の道路を見ると、たばこの吸い殻などゴミが落ちていることが多い。また、昨年度から三原市環境基本計画を推進する地域組織「かんきょう会議 浮城」の方と連携を取り、さとうきびを休耕田や学校に植えて育てる「ざわわプロジェクト」を一緒にいき、さとうきびについて全校児童で学習している。

本単元で、自分たちが住んでいる地域の自然や環境を扱うことで、疑問や気づきを基に課題を設定し、この問題を解決していくために多様な他者と協働し、多角的な視点から自分（たち）にできることを考え、実行する姿を引き出したい。また、地域や学校、家庭が一体となって取り組んでいく必要があることに気付かせたい。そのような過程の中で、SDGsの視点も取り入れ、持続可能な自己の生き方を構想してほしい。

#### 児童の実態

本学級の児童は、第3学年の総合的な学習の時間「ざわわプロジェクト」や「特別養護老人ホームとの交流」を通して、郷土愛を深めてきた。昨年度はコロナウイルス感染症の影響で毎年行ってきた老人ホームへの訪問は中止された。しかし、直接会えなくても、お年寄りを元気づけられないかと考え、友達と協力してしおりを作ったり動画を作成したりするなど、自分たちの思いや願いを叶えるために行動することで、主体性や協働性を育んできた。

9月のアンケート調査では、主体性に関する問いで82%、思考力・判断力に関する問いに対して91%の児童が肯定的な回答をしている。一方で、表現力に関する問いに対しては、肯定的な回答をした児童が73%にとどまっており、表現力に対して課題が見受けられる。また、どの項目に対しても強い肯定を示している児童は少なく、あまり自信がもてない児童が多くいることが窺えた。

#### 学習の題材

本題材では、地域の自然や環境をテーマとして学習に取り組んでいく。仮の探究課題として、「深町をもっときれいに元気にしよう。」とし、個人やグループで調べたり、地域の人や関連した人へのインタビューをしたりすることで、多面的に捉えながら地域社会や環境問題への理解を深めていく。その中で、2015年に国連で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）は近年、全世界で注目され、17個の目標の達成に向け、世界各地での取組や諸問題があることに気付かせ、問題を解決するために真の探究課題（本質的な問い）を設定させる。このような課題解決の過程の中で、目的や意図に応じて情報を収集、整理し、要因などを予測しながら論理的に考えたり、解決策等、自分の考えを主体的に表現したりする力を高めることができる題材と言える。

#### 単元の目標

地域の自然や環境について調査したり、問題の解決策について考え、実行したりする活動を通して、さまざまな問題の解消に向けて自分たちにもできることがあることを理解し、多角的な視点から、対策について考えるとともに、自らの生活や行動に生かすことができるようにする。

### 2 「見方・考え方」を働かせ、深く学び合う指導の手立て

#### （1）総合的な学習の時間における「見方・考え方」を働かせる手立て

##### ○広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉えるために

地域の方、市役所の方やさとうきびを扱っている企業の方からお話を聞いたり、インターネットや新聞記事、本を参考にしたりして、環境問題の課題を捉えられるようにする。また、SDGsと関連付け、「住み続けられるまちづくり（11番）」「海の豊かさを守ろう（14番）」の実践を調べることで、地球規模の課題でもあることを確認する。

○実社会・実生活の課題を探究し、自己の生き方を問い続けるために

新たな見方・考え方を働かせる「ひと・もの・こと」と出あうことで、児童は自己の生き方を省察し、より多角的な視点で持続可能な自己の生き方を考えさせられるようにする。単元前半では深町について交流し、深町をきれいにするために自分たちにできることについて、新聞にまとめる。後半では、SDGsと関連付け、17個の目標の達成に向け、世界各地での取り組みを調べることで、自分たちはどのように環境を守っていくかを改めて考え、自己の生き方を問い続けられるようにする。

(2) カリキュラム・マネジメントを通して、各教科等における「見方・考え方」を総合的に働かせる手立て

○国語科…「たしかめながら話を聞こう」、「みんなで新聞を作ろう」、「言葉で考えを伝える」等（4年）  
「メモを取りながら話を聞こう」、「調べて書こう、わたしのレポート」、「言葉でつたえ合う」等（3年）  
地域の人や関連した人へのインタビューや友達との話し合い、調べたことをまとめる学習について国語科での指導を総合的な学習の時間に生かす。

○社会科…「水はどこから」、「ごみのしよりと利用」等（4年）

「わたしのまち わたしの暮らし」、「市の様子」等（3年）

自分たちが住んでいる町や市の様子についてや住みよい暮らしを支えている仕事や施設についての調べ学習を通して、自分たちにできることへの考えるきっかけに活用する。

(3) 学習ツールの活用

○ICT 機器

個人での情報の収集で検索機能やドキュメント、整理・分析の場面で写真機能やジャムボード、まとめ・表現の場面でスライド等の機能を使用する。また、必要に応じて外部へのインタビューや交流にミーティング機能を使用し、校内での活動、リモートでの活動の両面から、活動の充実を図る。

○思考ツール

意見を広げる場面でイメージマップ、多面的多角的に考える場面でY・Xチャート、自分の意見を焦点化・構造化する場面でピラミッドチャート、意見を比較・分類・整理する場面で座標軸、成果物を評価する場面でPMIシート等、必要に応じて効果的に活用する。

3 単元の評価規準（ルーブリック）

資質・能力		B 目標を概ね達成した状態	A 目標を大きく達成した状態
主体的に 学習に 取り組む 態度	【主体性】	課題解決に向けて、自分にできることに進んで取り組もうとしている。また、多様な他者と協働し、多様な意見や考えを生かしながら、解決しようとしている。	課題解決に向けて、自分（たち）の取り組みを振り返り、それを生かしながら学習に取り組んでいる。また、多様な他者と協働し、多様な意見や考えを生かしながら、最後まで粘り強く解決しようとしている。
	思考・ 判断・ 表現	【思考力・ 判断力】  【表現力】	情報収集したことと自分の関心事を結び付けながら、課題を設定し、多様な方法で多角的な視点から情報を収集している。
知識・技能		課題を解決するために、目的に合う方法で筋道立てて思考し、グラフや地図、写真等を使って、自分の考えと根拠を表現している。	課題を解決するために、目的に合う方法を選び、筋道立てて思考し、考えたことを写真やグラフなどを使って、相手に伝わる工夫をして、効果的に表現している。
		環境問題の原因やどのような理由で問題になっていることや問題解決に向けて自分たちにできることを理解している。	環境問題の原因やどのような理由で問題になっていることや問題解決に向けて自分たちにできることがあることを理解している。また、多様な他者と関わり、学習することのよさに気付いている。

4 指導計画 (50 時間 本時 34/50)

	探究の過程 資質・能力	学習活動	評価方法
テーマ決定・仮の課題の設定・探究	<p>情報の収集 整理・分析</p> <p>主 思 表</p> <p>課題の設定</p> <p>主</p> <p>(6)</p>	<p>○グーグルマップで深町を確認したり、登下校を想起したりして、深町の自然や資源について知っていることを交流し、分類する。(1)</p> <p>○知っていることから、個別の問いを立て、解決の難易度別に分類する。(1)</p> <p>○それぞれの問いについて、本やインターネットで調べたり、保護者や地域の方のインタビューをしたりして情報を集め、わかったことを交流する。(2)</p> <p>○解決が難しい問いを整理し、全体の課題を設定する。(2)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>仮の探究課題：深町のことをもっと知り、深町をもっと元気にきれいにしよう！</p> </div>	<p>・イメージマップ</p> <p>・ジャムボード</p> <p>・ワーク</p> <p>・行動観察</p>
	<p>情報の収集 整理・分析</p> <p>主 思</p> <p>まとめ・表現</p> <p>思 表</p> <p>(13)</p>	<p>○探究課題を解決するために必要なことを書き出し、計画を立てる。(1)</p> <p>○休耕田にさとうきびを植えていることから、さとうきびについて交流したり、昨年の取組を4年生が3年生に伝え、育て方やさとうきびの情報を集めたりする。(2)</p> <p>○さとうきびについて、本やインターネットで調べ、分かったことを交流する。(1)</p> <p>○昨年度のさとうきびを掘り起こし、植える。(1) →芽が出る等、変化があれば観察し、成長を記録。植え替えも行う。(3)</p> <p>○深町をきれいにするために自分たちができることは何かを考え、インターネットや本で調べ情報を集める。(2)</p> <p>○情報を交流し、解決できないことを質問するために情報を整理する。(1)</p> <p>○「三原市かんきょう会議 浮城」の方の話を聞き、聞いたことを整理して、まとめる。(1) (国語科)</p> <p>○今までの取り組みをグループで新聞にまとめ、自分たちができることについて交流し、感想を伝え合い、新聞コンクールに応募する。(1) (国語科)</p>	<p>・ワーク</p> <p>・行動観察</p> <p>・ワーク</p> <p>・行動観察</p> <p>・ジャムボード</p> <p>・ワーク, 行動観察</p> <p>・新聞</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">真の課題の設定・探究</p>	<p>課題の設定 主 思</p> <p>情報の収集 整理・分析 主 思</p> <p>情報の収集 整理・分析 主 思 表</p> <p>まとめ・表現 思</p> <p>(27)</p>	<p>○地域清掃活動を行い、深町をきれいにする。(学校行事)</p> <p>○深町に落ちているゴミを分別し、どんなゴミが多いかを知る。(1)(社会科)</p> <p>○三原市清掃工場、不燃物処理工場に社会見学に行き、収集されたゴミのゆくえについて学習する。(社会科)</p> <p>○見学したことをまとめ、交流する。(1)(社会科)</p> <p>○清掃工場の方の話やプラスチック問題に関わる資料、SDGsの資料(「住み続けられるまちづくり(11番)」「海の豊かさを守ろう(14番)」を中心に)を読んで新たな課題を話し合い、探究課題を更新する。(3)</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>真の探究課題：深町を「住み続けられるまち」にするために、自分たちにできることを考えよう！</p> </div> <p>○課題を達成するために必要なことを書き出し、計画を立てる。(1)</p> <p>○さとうきびのストローを販売している企業の方に話を聞き、プラスチックをできるだけ使わないようにする取組が世界的に行われていることから、課題を焦点化する。(2)</p> <p>○ストローについて調べたり、体験したりすることで、さまざまな種類のストローのメリットやデメリットをまとめる。(3)</p> <p>○市役所生活環境課の方にインタビューをしたり、アドバイスをいただいたりする。(1)</p> <p>○学校給食で毎日使われているストローに着目し、自分たちにできることはないかを話し合う。(3) <b>本時</b></p> <p>○互いの案を紹介し合い、改善点を話し合い、スライド等にまとめる(7)</p> <p>○校長先生や「三原市かんきょう会議 浮城」の方に中間発表を行い、アドバイスをいただき、改善する。(4)</p> <p>○東部調理場の栄養士や市役所の方、山陽乳業の方に調べたことをPRする。(1) <b>【自己評価・相互評価】</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・ワーク</li> <li>・XYチャート</li> <li>・行動観察</li> <li>・ピラミッドチャート</li> <li>・行動観察</li> <li>・ピラミッドチャート</li> <li>・ベン図</li> <li>・表</li> <li>・ピラミッドチャート</li> <li>・座標軸</li> <li>・スライド</li> <li>・行動観察</li> <li>・ワーク</li> </ul>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">活動のまとめ・評価</p>	<p>まとめ・表現 主 思</p> <p>(4)</p>	<p>○本単元の学習を振り返り、自己の成長について発表し合う。(2) <b>【自己評価】</b>、<b>【相互評価】</b></p> <p>○来年度の活動のために、成果や課題をまとめ、来年度につなげる。(2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーク</li> <li>・PMIシート</li> <li>・スライド</li> </ul>

5 本時の学習

(1) 本時の目標

自分たちにできることを座標軸で整理して比べる活動を通して、課題への解決策を見つけることができる。

(2) 本時の評価規準（思考力・判断力のルーブリック）

B：収集した情報と自分の関心事とを結びつけながら必要な情報を選択し、課題への解決策を見つけている。

A：収集した情報と自分の関心事とを結びつけながら必要な情報を選択し、課題への解決策を見つけ、解決するための見通しを持っている。

(3) 本時の展開

	学習活動	○指導・支援 ☆評価
課題の設定 6分	<p>1 前時までの学習を想起する。</p> <p>・プラスチックが大量に川、海に流れている。プラスチックはすべてリサイクルされない。自然にかえらない。 ・学校の給食で毎日使っているストローはリサイクルしていない。自分たちに何ができるかヒントをもらった。</p> <p>2 探究の過程、本単元で育成をめざす資質・能力を確認する。 ・整理・分析, 思考力・判断力</p> <p>今までの学習から、自分たちにできることを整理して、みんなで考えていくことを見つけよう。</p>	<p>○本時の課題を確認する際に、めざす学習のゴールに対する本時の位置づけを確認できるように学習リーダーに言葉がけをする。</p> <p>○本時の課題を確認した上で、探究の過程と主に育成をめざす資質・能力を設定する。</p>
整理・分析① 9分	<p>3 自分たちにできることを座標軸で整理・分類して、交流する。(個→グループ)</p> <p>座標軸を使って考えよう。グループで交流しましょう。</p> <p>・「ストローを使わずに飲む」は、「すぐに自分ができる」ところにおいた。わけは、明日からでもできることだと思ったから。 ・「ストローを給食からなくす」は、「他の人の協力が必要で時間がかかる」のこの辺においた。わけは、すぐにはできそうにないし、自分たちだけではなくするのは無理だから。</p>	<p>○前時までに絞った内容（自分たちにできること）を整理するために、座標軸（自分でできる⇔ほかの人の協力が必要、すぐにできる⇔時間がかかる）を活用して、考えをまとめられるようにする。</p> <p>○グループで交流する時、意見が大幅に異なる場合は、印をつけて全体交流で異なる理由を説明できるようにする。</p>
整理・分析② 20分	<p>4 意見を整理する。</p> <p>みんなが考えた座標軸を比べて、みんなで考えていくことを見つけましょう。</p> <p>・「ストローを分別する」の場所がちがう。どうして、このグループは、そこにおいたの？ ・「ストローを給食からなくす」を右上においたのは、自分たちではできないし、給食を持ってきてくれる人をお願いしないとイケないから。 ・自分でできる取組も、他の人の協力がないとゴミを減らしたりできないんじゃないの。 ・右上の取組は協力しないとできそうにないし、時間がかかるからみんなでやった方がいい。</p> <p>給食のストローをなくすために、「だれに」「何を」「どのように」進めていきますか。</p>	<p>○各グループの座標軸の付せんの位置を比較することで、なぜ時間がかかるかや、他の人の協力とはどのような人かななどを具体的に考えられるようにする。</p> <p>○意見がでないときや根拠がわからないときなどは、「この意見の位置がちがうのは？」、「線の上においたのはどういうこと？」や「どうしてそう考えたの？」等、教師が介入することで考えの根拠が明確になるようにする。</p> <p>○みんなで考える価値のある取組はどれかを問うことで、「協力が必要」や「時間がかかる」取組である「給食のストローをなくす」をみんなで考えられるようにする。また、取組を進めるために、「だれに」「何を」「どの</p>

	<p>○ストローをなくすためには、誰に伝える必要があるんだろう。</p> <p>○ストローのゴミを減らすために、ストローなしの給食を市役所の方に提案してみたらどうだろう。</p> <p>○ストローが毎日たくさん捨てられていることや、使わなくても飲めること、いろいろなストローを飲み比べたけど、結局使わないことが一番いいことを伝えたい。</p> <p>○スライドを使って伝えたいことをまとめたらくわかるかな。</p>	<p>ように」進めていく必要があるかを全体もしくはグループで話し合う。</p> <p>☆収集した情報と自分の関心事とを結びつけながら必要な情報を選択し、複数の情報や考えを比較したり、関連付けたりして課題への解決策を見つけている。(行動観察、ジャムボード)</p>
<p>まとめ・表現</p> <p>10分</p>	<p>5 本時の活動について振り返り、学習したことをまとめる。</p> <p>課題を達成する中で、今日学んだことは何ですか。振り返りを書いて交流しましょう。</p> <p>・座標軸を使って考えを整理すると、ストローをなくすために誰に何をどのように提案すればよいかが見えてきた。</p> <p>・前は、自分の考えを持ったり理由をつけて発表ができなかったけど、今日は自分の考えを理由と一緒に発表することができるようになった。</p> <p>・○○さんの～という考えは、自分では思いつかなくてよいと思った。</p> <p>・思考判断力の～まで、できた。次は～ができるために～をがんばりたい。</p> <p>・今日の座標軸を使った思考ツールをまたちがうときにも使ってみよう。</p>	<p>○座標軸を使った活動を通して、どのような学びを得ることができたかを振り返る。</p> <p>○「振り返りのヒント」を活用することで、①本時の学習について②資質・能力について等の2つの視点を児童に選択させて、振り返りを書かせるようにする。</p> <p>○振り返りを交流することで、自分たちの新たな学びを理解し、自分(たち)の学び方のよさを実感したり、これからの学びに生かそうとしたりする。</p>

(4) 板書計画

深町を「住み続ける町に！」～自分たちができること～

11/18 整理・分析 思考・判断力 ⑤

課 今までの学習から、自分たちにできることを整理して、みんなで考えていくことを見つけよう。

見通し

①考えをわけろ。→意見を交流する。

②考えを整理して、これからどのように進めていくかを話し合う。

③ふりかえり

本時の学び

振り返りのヒント

今日の「？」

協力が必要！時間がかかる！取組ストローをなくすには？

①だれに？ →市役所？給食を決めているところ？

②何を？→プラスチック問題のこと。ストローをリサイクルできていないこと。ストローなしでも飲めること。ストローの種類のこと・・・

(③どのように？) スライドを使ったら、わかりやすい。

深町から ストローのゴミをへらそう！

他の人のきょう力がひつよう

自分ができる

すぐにはできる

時間がかかる

大型テレビ

児童のジャムボードを掲示